



学校だより

天王丘 XII

令和3年6月8日(火)

第6号

観音寺市立栞田小学校
発行

4, 6年生を対象に「非行防止教室」を開催

六月三日(木)、三、四校時に「非行防止教室」を開きました。香川県教育委員会義務教育課や香川県警生活安全部少年課から四名の方に来校していただき、四年生は各学級で、六年生は学年全体が体育館で、一時間の授業を受けました。

まず、様々なデータから、昨今の少年非行の現状を理解することから始まり、身近な非行である「万引き」に焦点を当てて、その特徴や心理状態等を映像を見ながら学びました。この映像は、県内の中学生が作成したものであり、子どもたちも真剣に見入る様子が見られました。

次に、近年、小学生でも利用者が激増しているSNS等でのネットトラブルについても学びました。画像を気軽に送信することの怖さ、危険なサイトの存在など、子どもにとって身近にあるからこそ、気を付けなければならぬことを具体的に学びました。

会の終了後、講師の方からは「栞田小学校の子どもたちは話をよく聞いてくれました。積極的に発言する姿も立派でした。」とお褒めの言葉をいただきました。

大変有意義な学びができた子どもたち。ご家庭でも身近にひそむ様々な危険に対してご指導をいただければ、と思います。



右の詩は、かつて勤務した学校で先輩の先生から教えていただいた詩です。1985年頃にテレビのCMでも流れていたそうです。

たった1秒、人生の中では僅かばかりの時間ですが、そこに加わる言葉で、この詩のように、優しさや幸せを感じたり、時には人を傷つけたり、自分が傷ついたりもします。

私たち教員が子どもたちにかける言葉も、保護者の皆さまがお子様にかける言葉も、「一生懸命」に考えて大切にしたいものです。

一秒の言葉

小泉 吉宏

「はじめまして」
この一秒ほどの短い言葉に、一生のときめきを感じることもある。

「ありがとう」
この一秒ほどの短い言葉に、人の優しさを知ることがある。

「がんばって」
この一秒ほどの短い言葉で、勇気がよみがえってくることもある。

「おめでとう」
この一秒ほどの短い言葉で、しあわせにあふれることがある。

「ごめんなさい」
この一秒ほどの短い言葉に、人の弱さを見ることがある。

「さようなら」
この一秒ほどの短い言葉が、一生の別れになるときがある。

一秒に喜び、一秒に泣く。
一生懸命一秒

新型コロナウイルス『感染拡大防止集中対策期』に移行

県の新型コロナウイルス感染症対処方針については、6月7日現在、以下の6段階中、5段階目となっています。

①感染予防対策期 ⇒ ②準感染警戒期 ⇒ ③感染警戒期 ⇒ ④感染拡大防止対策期 ⇒ ⑤**感染拡大防止集中対策期** ⇒ ⑥緊急事態対策期

6月1日より、⑥「緊急事態対策期」から⑤に引き下げられていますが、病床使用率等はまだまだ高い水準にあり、県では独自に「医療ひっ迫警戒警報」を出す等、安心できない状況が続いています。学校では引き続き、適切なマスクの着用、手指の消毒、換気等に留意して教育活動を行います。ご理解とご協力をお願いいたします。